

栽培のしおり

【さつま芋(ヒルガオ科)】

メキシコ原産の野菜で、盛夏の暑さや強光、乾燥に強く、生育適温は22～30℃。土質を選ばず育ち、連作も出来るが、肥大には用土が深く、通気性の良いことが大切になる。

栽培時期

植え付けは4月末～6月中旬

栽培のポイント

輪作すると形が良く出来る。肥料は多く施さない。チツソ分の過多は禁物。挿し芽用の元気な苗を購入する。盛夏になってつるが伸びたら、つるを裏返す。収穫は初霜が降りる前までに

品 種

紅赤 紅農林 高系14号 農林1号 太白 栗まさり

土壌酸性度

強い(ph5.0～5.5)

連作障害

なし

元 肥

1㎡当たり堆肥500g 化成肥料50g

苗の準備

苗は茎が太く、5～6枚の葉をつけた長さ25～30cm程度のものを購入する。茎の先端をいったん切り、切り口を水に浸し苗をピンとさせる。

植 付

畝に30cmおきに移植ゴテか手で10cm程度の植え穴を掘る。苗の半分近くが埋まるように斜めに植える。

草取り・中耕

つるが地上の節から2～3本伸びたら草取りを行い、畝と畝の間を耕して中耕し、土の中の通気を良くする。つるが伸びると作業がしにくくなるので早めに行う。

追 肥

殆ど必要がない。

つる返し

つるはどんどん伸びるので、つるを裏返す。つるを切り、伸びを抑えても良い。このとき、雑草を取り除き、消石灰か草木灰などを施すと、更に質の良いイモになる。

収 穫

早生種のはや彫りは8月下旬、他は11月に収穫する。霜が降りる前の晴天の日を選び、1株を試し掘りしてみる。つるは全部刈り取り、スコップかクワでまわりの土を深く掘り上げ、傷をつけないように手で掘り出す。

栽培実績

2009土作り(A-1～4の左半分)

6/23 掘起し、堆肥、化成肥料

6/26 畝たて、ビニールマルチング

品 種(不明)

6/26 植付

11/01 試し掘り

11/10 収穫完了